

G空間情報センター

ニュースレター 第27号 2021年9月発行

【目次】

- [1. TOPICS 「ベース・レジストリと G 空間情報センター」](#)
- [2. 上位アクセス状況\(集計期間：2021.7.1-8.31\)](#)
- [3. 最新のお知らせ](#)
- [4. 三次元点群データを活用した道路防災点検の高度化の取組み](#)
- [5. 注目のコンテンツ紹介](#)

1. TOPICS 「ベース・レジストリと G 空間情報センター」



井上陽介

G空間情報センター副センター長/
株式会社価値総合研究所

1. はじめに

2021年9月にデジタル庁が発足しました。本稿では、今後デジタル庁で推進される施策のひとつであり、G空間情報センターと関わりの深い「ベース・レジストリ」を取り上げます。

2. ベース・レジストリとは

ベース・レジストリは「公的機関等で登録・公開され、様々な場面で参照される、人、法人、土地、建物、資格等の社会の基本データであり、正確性や最新性が確保された社会の基盤となるデータベース」と定義されています。

ベース・レジストリを整備する意義として、①行政手続きのワンスオンリーの実現（デジタル手続きにおいて同じ情報の入力や記入ミスを防ぐため、一度の入力で完了させるなど）、②行政におけるシステム

重複投資の削減（各種業務のために収集・整備・更新されていたデータの重複削除）、③社会の情報基盤としての貢献（行政だけでなく民間にもデータを共有し社会コスト全体の削減）が掲げられています。



出典：「ベース・レジストリ・ロードマップ」

(https://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/dgov/dai10/siryou_a.pdf)

図：ベース・レジストリのイメージ

3. 土地・地図分野におけるベース・レジストリ

具体的なベース・レジストリとして、マイナンバー、法人番号などに加えて、土地・地図分野では、地図情報（電子国土基本図）、郵便番号、アドレス（いわゆる”住所”）が指定されています（下表参照）。

一般に流通している住所・所在地は、住所入力や検索など様々なサービスで利用され、社会に広く浸透しているものの、住所・所在地の情報は市区町村や登記所で個別に管理されており、一元的に管理できていません。加えて、地域により異なり特殊なケースも多く存在していることから、アドレスに関しては、マスターデータの整備が必要とされています。

区分	指定項目	指定データ等	所管部門
即効性の観点から、早期にベース・レジストリとしての利活用を実現するもの	地図情報	電子国土基本図	国土地理院
	郵便番号	郵便番号	日本郵便
今後ベース・レジストリとして整備のあり方を含め検討するもの	アドレス	マスターデータを整備する必要あり	
	町字	電子国土基本図	国土地理院
	所在・地番	不動産登記簿	法務省
	不動産番号、地図データ		

表：土地・地図分野におけるベース・レジストリの指定

出典：「ベース・レジストリの指定について」（内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室）より作成

4. ベース・レジストリに係る今後のG空間情報センターの展開

G空間情報センターでは、今後、土地・地図分野のベース・レジストリが所管部門等で整備され次第、検索・入手できる環境を提供していきます。

さらに、G空間情報センターから提供する、3D都市モデル、点群データや農地筆ポリゴンなどの多様なデータと、ベース・レジストリとの連携を図ることが、今後の重要な役割の1つと考えています。

併せて、地方公共団体や民間等が保有する地理空間情報の集約などにより、新たなベース・レジストリの構築やルールづくりにも寄与する活動も推進していきます。

2. 上位アクセス状況(集計期間：2021.7.1-8.31)

登録ユーザー数	9,320 名
期間アクセス数	489,524
登録組織数	470 件
データセット数	7,207 件
ファイル数	55,501 件

人気のデータセット

1	3D 都市モデル (Project PLATEAU) ポータルサイト
2	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区
3	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区 (FBX 2020 年度)
4	全国の人流オープンデータ (1km メッシュ、市町村単位発地別)
5	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区 (CityGML 2020 年度)
6	静岡県 富士山南東部・伊豆東部 点群データ
7	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区 (3D Tiles / GeoPackage / JSON 2020 年度)
8	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 札幌市 (2020 年度)
9	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区 (OBJ 2020 年度)
10	3D 都市モデル (Project PLATEAU) 東京都 23 区 (FBX 4 次メッシュ 2020 年度)

3. 最新のお知らせ

G空間情報センターの最新のお知らせは[こちら](#)

最新のデータ公開情報は[こちら](#)

最新のイベントをいち早くキャッチしたい場合は、ぜひ Peatix でフォローをお願いします☆

G空間情報センターイベント最新情報は[こちら](#)からフォロー(Peatix)

4. 三次元点群データを活用した道路防災点検の高度化の取組み

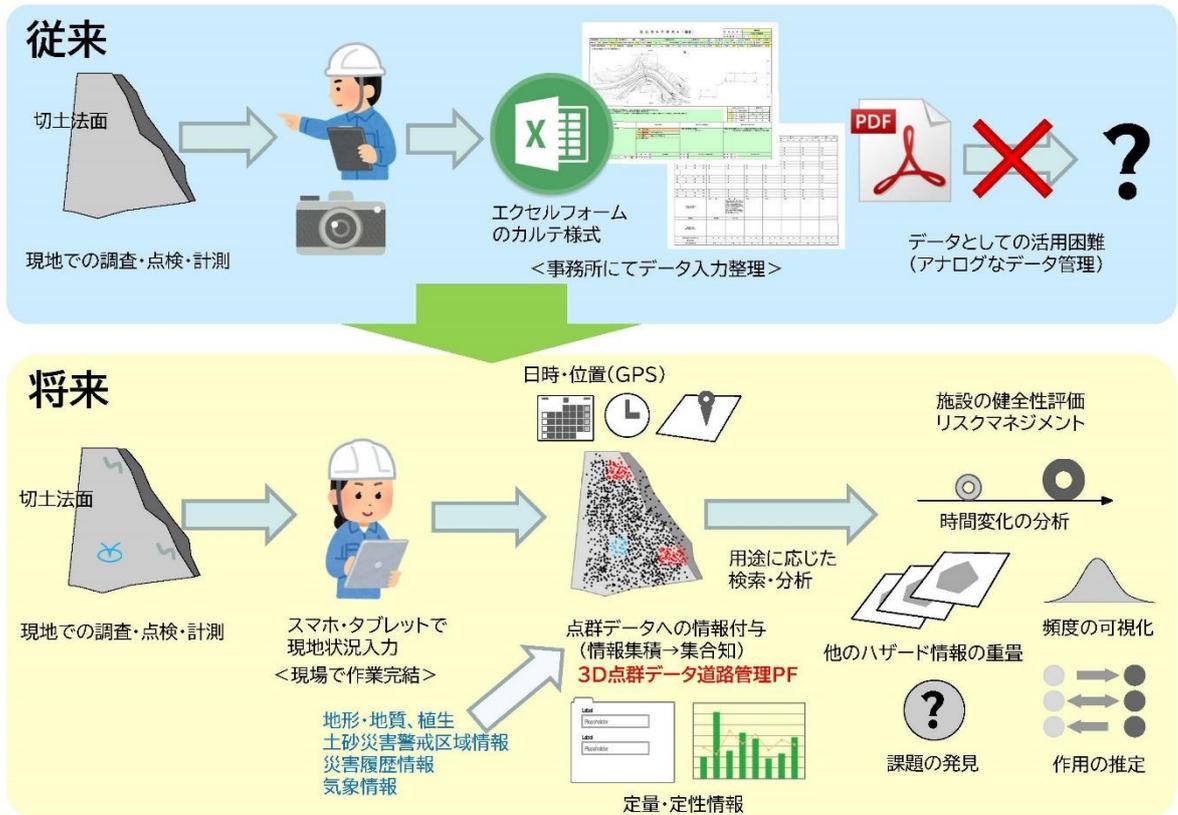


日本工営株式会社 防災部
田中義朗

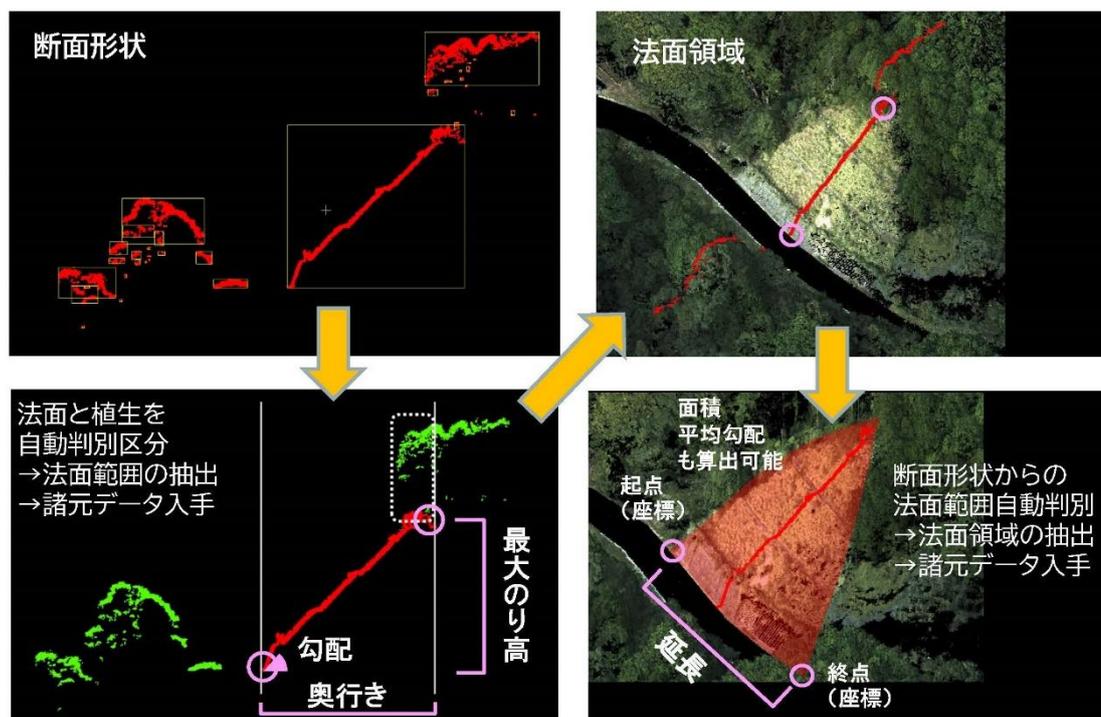
日本工営株式会社（以下、当社）は日本を代表する総合建設コンサルタント会社で、山岳エリアから都市部までの幅広い社会インフラ構築のための調査分析設計を行っています。私の所属している防災部では、土砂崩れや地すべりなどの斜面災害の分野を扱っています。

今回ご紹介するのは、静岡県、大阪経済大学、法政大学、関西大学、摂南大学、株式会社日本インシークと共に『静岡県「スマートガーデンカントリー”ふじのくに”モデル事業」のデータ利活用に関する共同研究』で行っている道路維持管理や防災対策の取組みです。

静岡県が独自に航空レーザー計測等で取得した「三次元点群データ」（G空間情報センターにて提供中）を活用して、道路の防災施設の詳細な状態を把握することで、安全安心な道路の仕組みの構築を目指し、2019年から研究を開始しました。そのなかで当社は、特に三次元点群データを用いた道路防災点検の高度化を目指した検討を行っています。



図：点群データ活用による施設管理イメージ



図：点群データからの施設抽出イメージ

従来の道路防災施設の点検では、道路の斜面や施設の状態に関する情報（斜面の位置、種別、規模、形状など）を現場でノートなどに記入して写真撮影します。その後、事務所に戻りエクセル形式のカルテにまとめる作業を行っており、データの入力、整理、検索のプロセスのデジタル化が進んでおらず、効率的な点検を行う上でのボトルネックになっていました。

これらの課題に対し、本研究では、点検結果や写真などの情報を現場の段階でデジタル化して集約し、三次元点群データと共に地図上で可視化します。その上で、蓄積された点検結果に基づく安全性評価を行い、道路管理者の負担を軽減しつつ安全性をカバーする仕組みを目指しています。今後は、データを活用した道路インフラマネジメントの基盤づくりにも広げていきたいと考えています。

近年増加している豪雨に伴う災害のハザードやリスクに関する防災情報の整理とそれらに関連するデータ整備などは、前述のような道路等のインフラ管理だけでなく、どの分野においてもとても重要であると認識しています。G空間情報センターには、これら防災に関するデータの継続的な提供、拡充を期待しています。

【参考】

VIRTUAL SHIZUOKA データ利活用に関する共同研究成果セミナー（2021年5月19日開催）

Youtube 動画サイト <https://www.youtube.com/watch?v=8lzWRLk-noM>

5. 注目のコンテンツ紹介

工場見学 / 中山データベース合同会社



日本国内の見学ができる工場の一覧です。

コロナ禍のため、実際には工場見学に出掛けられないと思いますが、アフターコロナでの活動プランの一つにいかがでしょうか？

コロナ禍の現在、様々なものに改めて目が向けられています。身近なものをテーマにしたデータは、今後も取り上げさせて頂ければと思います。是非皆さんも掲載してみてください。

対象データセットは [こちら](#)

ご意見・ご要望について

G 空間情報センターは、高度な地理空間情報社会の実現と皆さまの事業の発展に寄与・貢献できることを目標としています。

当センターへのご要望、ご意見、ご助言等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。最後までお読みいただき、ありがとうございました。

G 空間情報センターのユーザーアカウント登録は、[こちら](#)

G 空間情報センターのご要望、ご意見は、[こちら](#)

一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会(AIGID)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-10-5 代々木伊藤ローヤルコーポ 304 号室

メール: info@geospatial.jp

TEL: 03-6455-1845

※当ニュースレターの内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。